


地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	いしど ななこ	
氏名	石戸 奈々子	
所属・役職	慶應義塾大学 教授 CANVAS 代表	
活動拠点	東京都	
略歴	<p>東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員を経て、NPO 法人 CANVAS、株式会社デジタルえほん、一般社団法人超教育協会等を設立、代表に就任。慶應義塾大学教授。</p> <p>総務省情報通信審議会委員など省庁の委員や NHK 中央放送番組審議会委員を歴任。デジタルサイネージコンソーシアム理事等を兼任。政策・メディア博士。</p> <p>著書には「子どもの創造力スイッチ!」、「賢い子はスマホで何をしているのか」、「日本のオンライン教育最前線——アフターコロナの学びを考える」、「プログラミング教育ってなに? 親が知りたい 45 のギモン」、「デジタル教育宣言」をはじめ、監修としても「マンガでなるほど! 親子で学ぶ プログラミング教育」など多数。</p> <p>これまでに開催したワークショップは 3000 回、約 50 万人の子どもたちが参加。実行委員長をつとめる子ども創作活動の博覧会「ワークショップコレクション」は、2 日間で 10 万人を動員する。</p> <p>デジタルえほん作家&一児の母としても奮闘中。</p>	
地域情報化の専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の情報化 ・AI/IoT 時代の教育 ・子どもとメディア ・プログラミング教育 ・ICT 人材育成 ・地域情報発信 	
専門分野	教育情報化／情報教育	
自治体向けメッセージ	デジタル時代の子どもたちの創造・表現活動を産官学連携で推進したい。地域で子どもを育む環境をつくりたい。子どもたちを軸に地域が活性化する仕組みをつくりたい。そのような想いで活動を進めております。	
関連サイト	<p>■ CANVAS http://www.canvas.ws/</p> <p>■ 超教育協会 http://lot.or.jp/</p>	

		<p>■ブログ http://www.canvas.ws/nanako/</p>
<p>地域情報化に関する実績</p>	<p>これまでの経験業務・研究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の実践や教材などを集約したプログラミング教育のプラットフォームメディア「Computer Science for ALL」の運営を行い、全国に発信する活動を行う。 http://csforall.jp/ ・全国におけるプログラミング学習普及プロジェクト「PEG (Programming Education Gathering)」の推進。具体的には、子ども向けのワークショップ・授業の開催や指導者研修等を通じたワークショップ・授業の開催支援を行う。 ・日本マイクロソフト株式会社とともに、全国の学校・地域と連携しながら多様な子どもたちへプログラミング教育体験を届けるためのプロジェクト「Programming for ALL」を推進。 http://canvas.ws/youthspark/ ・地域を紹介する映像の制作教室など全国各地でのICTを活用した子どもの創造力・表現力教育の実践。 ・10万人規模が参加するワークショップイベントを全国数カ所で分散開催する試み。 ・デジタル教科書の普及推進など自治体との連携を通じた全国での教育情報化の推進。
	<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p>	<p>2016- 全国の実践や教材などを集約したプログラミング教育のプラットフォームメディア「Computer Science for ALL」の運営。</p> <p>2014- 全国でのプログラミング学習を推進するプロジェクト「PEG-Programming Education Gathering」の運営。これまで120以上の学校・団体・自治体と連携し、14年から15年の1年間で、1000人以上の指導者を育成、2万5000人の子どもたちにプログラミング学習の機会を提供してきた。</p> <p>2010- 教育の情報化を推進するデジタル教科書教材協議会の運営。</p> <p>2005- 各地域において産官学連携にて、子どもたちが地域を紹介する映像を制作するプログラムの企画・実施。</p> <p>その他、各種企業、公益法人、自治体からの受託による地域のこども向けのプログラム、まちづくり企画の開発・実施。</p>